

国際ロータリー第2560地区
ガバナーテーマ

ロータリーの心で
友情を深めよう

高田ロータリークラブ
今年のスローガン

勇気と希望をもって、
煌めくロータリーを



世界に希望を生み出そう

2023-2024年度

国際ロータリー会長 ゴードンR. マッキナリー

第2560地区ガバナー 米山 忠俊

高田ロータリークラブ会長 山田 守

幹事 吉田 巧

広報・会報・雑誌委員会：
細野仁・山本 陽・大島 誠・林 泰成

第21回 新年初例会 1月12日(金)

No.21

会長挨拶 ●山田 守



皆さん明けましておめでとうございます。本年もどうぞ宜しくお願いします。年明け早々大きな地震に見舞われ多くの被害を出しました。謹んでお見舞い申し上げます。

さて、今日1月12日は日本スキー発祥の日であります。1911年（M44年）、レルヒ少佐が13師団歩兵14名の将校にスキーを教えたのです。高田に1年、旭川に1年滞在した後、母国オーストリアに戻り、いくつかの戦争に参加し、負傷を機に退役します。レルヒさんは1922年（T11年）に53歳でイルマさんと結婚しています。

しかし、レルヒさんが退役してから困窮している事を、高田の人たちが聞き有志で見舞金を贈ったとの事です。

1945年（S20年）、ウイーンで亡くなっています。レルヒさん没後25年の1970年（S45年）に、羽尾勇さんがイルマ夫人にお会いしています。この時、タンスの上に有った木彫りの像を指さし「サムライ、サムライ」と言ったそうです。それは上杉謙信公の木彫でした。

出席報告

出席率 100%

ビ ジ タ ー

新潟県上越地域振興局長：鴻江孝雄様

メイクアップ

山田 守君・吉田 巧君・山崎公一君・飯塚宏佳君：
12/28 高田さくらロータリー衛星クラブ年次総会

委員会報告

国際奉仕委員会：2/21-25 スリランカへ角膜保存液を届けに行きます

委員会報告

高橋直前会長：牧野節様よりお礼状

幹事報告

配布物：会報No.19、20、ロータリーの友1月号
回覧物：ガバナー月信1月号、牧野節様お礼状

卓話

「上越地域の振興について」



新潟県上越地域振興局長 鴻江 孝雄 様

新年初例会は、上越地域振興局長 鴻江孝雄氏をお招きし上越地域の振興についてご講話いただきました。

上越地域振興局は、『「住んでよし、訪れてよしの上越地域」～にぎわいと活気あふれる地域の実現～』を基本理念に取り組んでおります。

しかしながら、令和4年10月時点での上越地域の人口は上越市18.3万人妙高市2.9万人となっており、将来推移人口も平成9年から令和32年の53年間で10.9万人（43.1%）減少すると考えられております。（新潟県全体では96.7万人減（38.8%））

一方で、産業については、地元大手企業を中心に“基礎素材型産業”が非常に大きな割合を占めており「工業」を牽引しております。「農業」についてはやはり“米づくり”が主流であり、特に農業法人が高い耕地面積を占めていることが他地域との差別化をしております。

また観光については、コロナからの回復が見られており、インバウンド観光の状況として、令和5年9月時点でコロナ禍前を上回りました。妙高エリアの良質な雪を求めてスキー場を訪れる外国人観光客が増加しており、長期滞在型の外国人観光客を“地域の街なか”へ誘客する取り組みが必要と考えております。県としては①スノーリゾート新潟②アドベンチャーツーリズム③高付加価値コンテンツの造成促進など取り組みを進めております。これら情報はインフルエンサーと連携、メディア・旅行会社を通じて情報発信（例、台湾・シンガポール・タイ）。

その他、今後の事業計画を一部紹介します。「高規格道路事業（上越魚沼地域振興快速道路）」「街路事業」「儀明川ダム事業」「直江津港の施設整備」「久比岐自転車道利用促進」「鉄道高速化&羽越新幹線構想」。特に「久比岐自転車道利用促進」については、環境スポーツイベント“SEA TO SUMMIT（能生からカヤック→自転車→登山で大毛無山頂上まで）”を開催、県内外の多くの参加者を迎え認知されつつあります。自転車道から見える景色は本当に素晴らしいです。今後も糸魚川地域振興局と広域周遊観光に向け取り組んで参ります。＊尚、本イベントには鴻江局長ご自身も選手として参加されております。

上越地域振興局は「安全に安心して暮らせる地域づくり」「多様な人や文化が交わる賑わいのある地域づくり」という役割をこれからも担ってまいります。

（広報・会報・雑誌委員長 細野 仁）

